

支援プログラム（参考様式）

Yくまーず未来リハビリ特化型療育すいっち

事業所名

法人（事業所）理念	「心の発達」 日々の児童や家族の心理状態に寄り添い、楽しみや生きがいを持って過ごせるように支援を行う。								
支援方針	心の発達を基盤とし、様々な専門職種により、児童の発達段階を適切に見極め、個別性の高いプログラムを行う。 家族への相談支援、児童に関する社会関係者との連携を行う。								
営業時間	10 13	時	30 30	分から	12 17	時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	食事・トイレ・整容動作などの日常生活に関する動作の練習、発達の促しを行う。 未就園児への母子分離、幼児の日常生活能力、学童期の持ち物管理や時間管理など、年齢に沿った生活力の向上・支援 生活リズムの形成							
	運動・感覚	身体運動の基盤となる、寝返り・立ち上がり・座位・立位・歩行といった基本的動作能力の発達向上及び運動機会の提供 ジャンプ運動・バランス運動・マット運動・ボール運動などの応用動作の発達向上及び運動機会の提供 日常生活に必要な手指運動の能力の向上・支援							
	認知・行動	運動に関する感覚過敏、感覚鈍麻などの感覚刺激に対する支援 数量・形の重さなどの、認知に関する知能の向上・支援 時間ごとに支援プログラムを区切り、その場面を認知し、行動に移すことを学ぶ。 こだわりなど認知・行動に関する感覚過敏、感覚鈍麻などの感覚刺激に対する支援							
	言語 コミュニケーション	言語能力に必要な知能・発語能力の発達の向上 他児と関わるための、言語能力の向上や、理解力の向上などによるコミュニケーション支援 遊びの中で他児と自然の中で関わり、人の気持ちや表情を踏まえた、実践的コミュニケーショントレーニングを行う。							
	人間関係 社会性	職員・他の児童との関わりの中で、お互いの気持ちを考える機会を提供し、人間関係構築力の向上 通所すること、場面による持ち物の準備など、家庭以外の場所での過ごし方を学ぶ。 幼稚園・学校など児童にとっての社会活動の支援(学習支援・他児とのコミュニケーション支援など)							
家族支援	定期的な保護者会、個別的な家庭との連携によって、児童の生活などの家族の相談を行う。				移行支援		幼児から学童期への移り変わりなど、長期的なライフステージを視野に入れた支援を提供していく。		
地域支援・地域連携	児童に関する、幼稚園・保育園、学校などの関係者との連携				職員の質の向上		虐待防止研修、避難訓練などの定期開催 それぞれの専門領域による学習会、報告会など		
主な行事等	保護者会 季節感を取り入れたプログラムなど								